

Combination therapy of an iNKT cell ligand and CD40-CD154 blockade establishes islet allograft acceptance in nonmyeloablative bone marrow transplant recipients

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-01-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 神澤, 太一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032405

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 711 号	氏 名	神澤 太一
審 査 委 員 会	主 査 教 授	田邊 一成	
論文審査の要旨 (400 字以内) Combination therapy of an iNKT cell ligand and CD40-CD154 blockade establishes islet allograft acceptance in nonmyeloablative bone marrow transplant recipients ナチュラルキラーT細胞リガンドと CD40-CD154 シグナル遮断薬による免疫寛容誘導療法を用いた同種異系膵島移植についての研究 【要旨】 同種異系膵島移植は1型糖尿病に対する治療法の一つであるが、拒絶反応や免疫抑制剤の副作用により長期生着は得られていない。我々はナチュラルキラーT細胞リガンド RGI-2001 と CD40-CD154 シグナル遮断薬 MRI を用いた骨髄移植によるドナー特異的免疫寛容誘導法を確立してきた。今回、糖尿病誘導マウスに免疫寛容誘導法を用いて膵島移植を行い、長期生着可能か検証した。BALB/c マウスにストレプトゾシン投与による糖尿病を誘発後、RGI-2001 と MRI を投与、C57BL/6 マウスの骨髄細胞を移植した。18 匹中 14 匹は 100 日以上グラフト機能を維持し、病理学的にも拒絶反応は認めなかった。RGI-2001 と MRI を用いた免疫寛容誘導法により同種異系膵島移植の長期的なグラフト生着に成功した。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			